

QUALIFYING NEWS FLASH

Round
2



予選速報

2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第2戦 2009年5月17日(日) 鈴鹿サーキット

発行人/編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

www.f-nippon.co.jp

Take Free
ご自由におとりください

トレルイエ (LAWSON IMPUL) が強雨の中、ポールポジションを奪取! わずかの差で届かなかったロッテラー、デュバルは決勝で巻き返せるか!?



5月16日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦の予選が鈴鹿サーキットで行われ、ウェットコンディションの中、No.2 ブノワ・トレルイエ (LAWSON IMPUL) がポールポジションを獲得した。

塚越がQ2で一時トップに立つ

予選方式は昨年と同様のノックアウト方式。海からの風と雨脚が強まってくる中、1時45分から20分間のQ1が開始。同時に各車がコースへ出る。そんな中、No.37 大嶋和也 (PETRONAS TOM'S) が、最終コーナーでコースアウトし、そのままノータイムで脱落となった。一方、上位陣はタイムを短縮し、最終的にトレルイエが1分58秒668でトップ。これに0.2秒差でNo.1 松田次生 (LAWSON IMPUL) が続いた。大嶋と共にQ1で脱落したのは、同じルーキーのNo.7 国本京佑 (Team LeMans) だった。

10分の間を置いて11台でQ2(10分間)が争われる。雨脚は強



まり、皆タイムを伸ばすことができない。そんな中、No.10 塚越広大 (HFDP RACING) が、中盤にはトップに立つ。最終的に4番手となり、今季のルーキーで初めてQ3に進出した。ここでトップを奪ったのはロッテラー。No.20 平手晃平 (ahead IMPUL) が2番手。一方、脱落したのは最後のアタック中、デグナーコーナーでコースアウトしたNo.41 伊沢拓也 (DOCOMO DANDELION) と、マシンに問題を抱えたNo.8 石浦宏明 (Team LeMans)。チャンピオンの松田もギリギリまで8番手を維持していたが、最後にNo.48 立川祐路 (CERUMO/INGING) に抜かれ、屈辱の脱落となった。

ラストラップの強烈なアタック合戦

いよいよポールポジションを賭けたQ3が、午後2時35分からスタート。ほとんどのマシンがQ2の激しい雨にあわせて車高を調整。ところ

が雨脚は弱まり、かえってマシンのバランスに苦しむ。その状況の中、デュバルは最初の計測ラップで2分00秒385というタイムをマークして、一時トップに立つ。ところが、この直後の1コーナー出口でコースアウト。タイヤバリアに激突寸前でマシンを停止させ、何とかコースへと戻った。一方、最終コーナーでコースアウトした立川はエンジンを止めてしまい、予選8位が決定。さらにS字でコースアウトしたのは、Q2でトップ争いを演じた塚越。塚越もこれで7位確定となった。残る6台はアタックを続行。チェッカーと同時に1分59秒106というトップタイムをマークしたのはトレルイエ。直後に平手が2番手に。この時、まだアタックしていたのがデュバルとロッテラー。この2人は東コースでトレルイエのタイムを上回っていたが、どちらも後半セクターでわずかにタイムロス。残念ながら、トップには届かなかった。その結果、トレルイエが2007年の開幕戦以来2年ぶりとなるポールポジションを獲得。コクピットを降りると満面の笑みを見せ、喜びを爆発させた。





3rd: ロイック・デュバル NAKAJIMA RACING / #31

コースアウトしたのはTVに映りたかったから(笑) Q2は何かQ3に残ることを考えていた。Q3はクルマのセットアップを変えたら、雨が止んでアンダーステアで大変だった。コースアウトしたのは、TVに映りたかったから(笑)。まだストレートにも水がいっぱいあったけど、段々ペースが上がってきたからプッシュして。だけど、1コーナーでリヤが流れてコースアウトしたんだ。ギリギリでぶつからなかった。その結果、予選3番手になれたんだから、とてもハッピーだよ。



4th: 平手 晃平 ahead TEAM IMPUL / #20

結果を見ると、4位は悔しい

朝からクルマのバランスを変えたら、クルマの状態はよくなりました。Q3は結果的に4位なので、自分としては悔しいのですが、残り1周ですごいコンディションが劇的に変わり、見た目でも明らかくらい雨が少なくなったので、これはプッシュするしかないだろうと思ってプッシュしました。明日に向けていい感じでもあるので、レースは楽しみです。外国人3人の前にうまく出られたら、また面白くなると思いますよ。



5th: 小暮 卓史 NAKAJIMA RACING / #32

最後は大事に行き過ぎた

Q1はクルマのバランスもフィーリングもよかったし、(1分)58秒台も見えていました。Q2は雨がかなり強くて、1回だけしかアタックしませんでした。ストレートで6速にシフトアップできず、5速でホイールスピニング状態でしたよ。そのくらい危なかったかな。そこで安全マージンをとるためにセッティングを変えたらQ3はあんまりよくなって、大事に行き過ぎたかなあ。決勝も雨になりそうですが、もうがんばるしかない。

A New Suzuka Circuit! Something will be happen in the race.

荒れた雨の予選。そして、決勝レースで待っているのは、波乱か、それとも...

32 小暮 卓史
NAKAJIMA RACING
Qualify 1: 1'59.196
Qualify 2: 2'05.975
Qualify 3: 2'00.320

7 塚越 広大
HFD P RACING
Qualify 1: 2'00.625
Qualify 2: 2'04.617
Qualify 3: 2'01.665

9 1 松田 次生
LAWSON TEAM IMPUL
Qualify 1: 1'58.869
Qualify 2: 2'06.323
Qualify 3: -

41 伊沢 拓也
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Qualify 1: 2'00.892
Qualify 2: 2'07.222
Qualify 3: -

37 大嶋 和也
PETRONAS TEAM TOM'S
Qualify 1: No Time
Qualify 2: -
Qualify 3: -

6 40 R.ライアン
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Qualify 1: 2'00.514
Qualify 2: 2'03.780
Qualify 3: 2'00.922*

*No.40 Q3の走路外走行時の当該ラップタイム削除

8 48 立川 祐路
CERUMO/INGING
Qualify 1: 2'01.922
Qualify 2: 2'06.039
Qualify 3: No Time

10 8 石浦 宏明
Team LeMans
Qualify 1: 2'01.793
Qualify 2: 2'06.785
Qualify 3: -

12 7 国本 京佑
Team LeMans
Qualify 1: 2'02.840
Qualify 2: -
Qualify 3: -

予選日: 2009年5月16日(土)
天候: 雨
路面: ウェット
予選通過: 2'06.974 / 107%

Round 2 SUZUKA TOPIC



予選トップ3は鈴鹿でオーバーテイクシステムをどう使うか?

すでに開幕戦で多くのドライバーが使用したオーバーテイクシステム。今回は富士とは全く違う性格を持つ鈴鹿が舞台だが、このサーキットでは、どの場所で、あるいはどのタイミングで使うのが有効なのだろうか? 予選トップ3に入ったドライバーたちに聞いた。まず予選を2番手で終えたロッテラーは、「このボタンはエンジンの回転が上がるだけで、ブーストが上がるというわけじゃないから、オーバーテイクの際のほんのちょっとした助けという感じなんだ。使うチャンスを狙って使おうって

いう感じだよ」とコメント。予選3番手のデュバルは、「どう使うかは、明日にならないと分からないよ。富士ではプロワがボタンを使うことなく他のマシンを抜いているし。リミッターのことも考えて、使わないとダメだね」と語った。ポールのトレルイエは、「ボタンを押してスピードが上がり過ぎると怖いからなあ〜(笑)」と冗談めかす一方、「スピードが上がる分、ブレーキングポイントも変わってくるし、なかなか使いこなすのが難しいんだよ。だから、よく考えて使わないとね」ということだった。

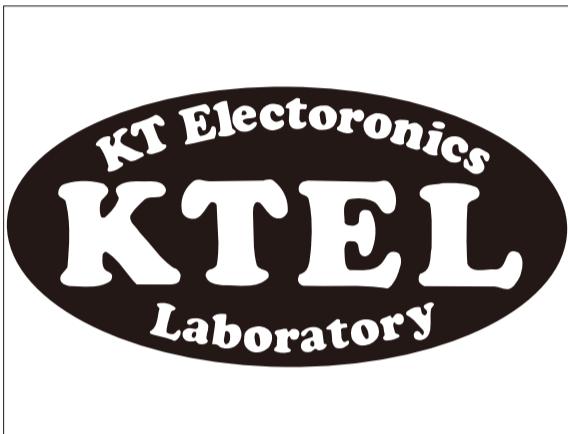


株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

At the heart of the image

NTN®

PIAA
PIAA MOTOR RACING PROJECT JAPAN
PRIDE AND CONFIDENCE IN PEOPLE AND PRODUCTS



Formula
NIPPON'09

モータースポーツ

モータースポーツの
リーディングペーパー

購読のお申し込みは

0120-026-999

FAX 0120-026-993

http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:



株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131
http://www.f-nippon.co.jp

編集制作: SIM co., Ltd./JRPオフィシャルフォトグラファー: 大西靖、田村弥
撮影機材: Nikon D3, D3X, NIKKOR Lenses

Lap up Formula NIPPON!

Entertainment

11:25~12:05 ピットウォーク

大人気のピットウォーク! マシンを間近で見たり、憧れのドライバーからサインをもらったり、キャンギャルを撮影するのもいいかも。参加料金:2,000円
※前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。



11:30~11:45 ヒストリックF1 デモンストレーション走行

ピットウォーク開催時、レーシングコース(東コース)では、1976年ロータス77(マリオ・アンドレッティ車)、1989年ロータス101(中嶋悟車)など、懐かしのF1マシンがデモンストレーション走行します。

ヒストリックF1 写真撮影

デモンストレーション走行に参加したヒストリックF1マシンが、走行終了後ホームストレートに並べられ、写真撮影をしていただけます。

※ピットウォークにご参加の方のみ、ホームストレート上にご入場いただけます。

12:10~ プリヂェストン浜島氏トークショー

フォーミュラ・ニッポン、そして今年鈴鹿で開催のF1にもタイヤを供給するプリヂェストンのMS・MCタイヤ開発本部長 浜島裕英氏が、開発秘話を語る? グランプリスクエア内特設ステージにて開催。

LAWSON TEAM IMPULテント



グランプリスクエアのLAWSON TEAM IMPULテントには、今日だけの特別企画がいっぱい!

IMPULマシン搭乗体験

小学生以下のお子様、女性限定でIMPULマシンのコックピットに搭乗していただけます。

※詳細は、IMPULテントスタッフにお問い合わせ下さい。

IMPULくじ

IMPUL応援グッズをお買い上げいただいた方に抽選で、松田次生選手の使用済グローブなど素敵なプレミアムグッズをプレゼント。

※詳細は、IMPULテントスタッフまでお問い合わせ下さい。

ローソン×阪松 グルメ企画

ローソンチームインバルテントでタンブラーをお買い上げのお客様に松坂牛阪松のコロッケ無料チケットをプレゼント。エコに貢献して揚げたての極上松坂牛コロッケを味わおう!



FN09コクピット体験乗車

グランプリスクエアのフォーミュラ・ニッポン オフィシャルブースで、ニューマシン「FN09」のコクピットに体験乗車ができます! オーバーテイクボダンも作動! 詳しくはブースで。



時間: 17日(日) 8:00~8:30/10:00~10:30/12:30~13:00/16:00~16:30

アンケート調査にご協力ください(対象:中学生以上の方)

フォーミュラ・ニッポンをよりよいイベントにするため、今回鈴鹿サーキットにご来場いただいた皆様からご意見を伺うアンケート調査を実施いたします。アンケートには次の二つの方法でご回答いただけます。

【回答方法①】アンケート票に記入 グランプリスクエアのフォーミュラ・ニッポンブースで配布しているアンケート票に記入することで回答できます。

●アンケート票配布時間: 5月17日(日) 10:00~14:00

●アンケート票回収時間: 5月17日(日) 15:30~17:30

【回答方法②】携帯・パソコンを使って回答 右のQRコード、下記のまたはメールアドレス

Information media

Find your Style J SPORTS



J SPORTSでは今年もFormula NIPPONの生中継。全国にリアルタイムでレースの臨場感をお届けします(一部ディレイ放送)。

5/17(日) 14:00~ 第2戦 決勝 鈴鹿サーキット 生中継 J sports 1

5/18(月) 20:00~ 第2戦 決勝 鈴鹿サーキット 再放送 J sports 1

○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/



激走!GT

5月24日(日)放送の「激走!GT」では、Formula NIPPON第2戦鈴鹿大会特集をOn Air!

毎週日曜日 17:30~18:00 テレビ東京系6局で好評放送中!

TX系列6局ネット: テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ北海道、テレビせとら、TVQ九州

○番組ホームページ: <http://www.tv-tokyo.co.jp/gt/>

F-PROJECT

NTT docomoのフォーミュラ・ニッポン通信実験サイト。車載映像とテレメトリデータを配信します。○番組ホームページ: <http://www.f-project.tv/>

Motorsports Channel



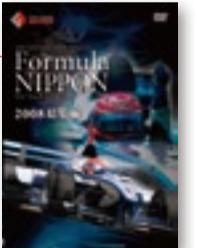
ケータイでライブタイミングで走行中の全車両の順位、ラップタイム、ピットインの情報をリアルタイムでチェック! レースをより面白くする情報満載です。

DVD

2008 Formula NIPPON 総集編

絶賛発売中!

2008年の熱戦を振り返る。松田、小暮のオンボード映像、星野監督のインタビューも収録。¥3,990(税込)。全国のローソン、Loppi、J sportsオンラインショップ(<http://shop.jsports.co.jp/>)、その他取扱店でお買い求めください。



2009年全日本選手権
フォーミュラ・ニッポン第3戦
ツインリンクもてぎ

同日開催 2009年フォーミュラチャレンジジャパン 第5戦&第6戦
Honda エキサイトンカップワンメイクレース 2009~シビック/東日本シリーズ~ 第2戦

□前売観戦券(2日間有効) 大人5,000円/子供(3歳~中学生)500円
□パドックパス(2日間有効): 3歳以上共通5,000円
□ピットウォーク券: 各11,000円
■当日券: 決勝日6,500円/予選日3,000円

5/30 SAT 予選日
5/31 SUN 決勝日

■主催: 株式会社モータースポーツ・エンターテインメント(M.O.S.C.)
■公認: 鈴鹿サーキット・自動車連盟(JAF) 豊後県 宇都宮市、及木町、宇都宮県九ヶ所町競馬協会、FM NACK5
■協賛: 日本レースプロモーション(JRP)

2009 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	4/4,5	富士スピードウェイ	Rd.5	7/11,12	鈴鹿サーキット
Rd.2	5/16,17	鈴鹿サーキット	Rd.6	8/8,9	ツインリンクもてぎ
Rd.3	5/30,31	ツインリンクもてぎ	Rd.7	8/29,30	オートボリス
Rd.4	6/27,28	富士スピードウェイ	Rd.8	9/26,27	スポーツランドSUGO

未来のトップドライバーの走りを見よ! フォーミュラチャレンジジャパン

フォーミュラチャレンジジャパン(FCJ)は、2006年、トヨタ、ニッサン、ホンダの自動車メーカー3社が協力して創設した新しいジュニアフォーミュラカーレース。その理念は「世界で活躍する有望な若手ドライバーの発掘と育成」および「日本のモータースポーツの裾野を広げ将来を支える人材の育成」という点に置かれています。

FCJでは、参加車両がワンメイクであるばかりか、独自の改造を一切禁じた管理下に置かれます。セッティングまで同一の車輛を用いることでドライバーのテクニックが浮かび上がり、分析とトレーニングの効率が上がると共に、優秀も明らかになります。

スに空メール(携帯・パソコン共通)を送っていただくと、返信メールでアンケート回答ページのURLをお知らせします。

●アンケート実施期間: 5月17日(日)15:30~18日(月)23:59

●空メール送信先アドレス: fn2@fle-qs.jp

特典: ご回答いただいた方には、もれなく2009フォーミュラ・ニッポンの特製携帯待受画面やパソコン用壁紙をダウンロードできるサイトURLをお知らせします。また枚数限定でドライバーの生写真もプレゼント。

※ご不明な点は、フォーミュラ・ニッポンブースのスタッフにお問い合わせください。



Support races result (top10)

全日本F3選手権第5戦決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	1	M.Ericsson	PETRONAS TOM'S F308	26'33.905
2	36	井口 卓人	PETRONAS TOM'S F308	- 1.170
3	37	國本 雄資	PETRONAS TOM'S F308	- 7.208
4	12	安田 裕信	ThreeBond	-17.125
5	2	K.Cozzolino	TODA FIGHTEX	-22.769
6	20	A.Imperator	ACHIEVEMENT by KCMG	-24.771
7	23	佐藤 公哉	NDDP EBBRO	-25.588
8	7	N 山本 尚貴	HFDP RACING	-28.159
9	22	N 千代 勝正	NDDP EBBRO	-34.868
10	19	N 黒田 吉隆	ACHIEVEMENT by KCMG	-35.287

12周/天候: 雨/コース: ウェット/出走: 15台/N: Nクラス

FCJ第3戦決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	3	金井 亮忠	FTRS・チームNATSFCJ	28'19.875
2	16	蒲生 尚弥	FTRS FCJ	- 0.440
3	9	野尻 智紀	HFDP/SRS-F/ARTA	- 2.555
4	12	松本 武士	NDDP プロバイル FCJ	- 5.568
5	17	三浦 和樹	HFDP/SRS スカラシップ	-20.501
6	4	佐々木 大樹	NDDP オートバックスFCJ	- 20.918
7	2	石井 一也	タカギブランニング FTRS	-23.613
8	8	大谷 飛雄	FTRSスカラシップFCJ	-26.928
9	11	元崎 亮二	HFDP/SRS スカラシップ	-31.489
10	14	鈴木 彰悟	NDDP アジノファンFCJ	-32.305

周回: 12周/天候: 雨/コース: ウェット/参加: 18台

ホンダエキサイトンカップワンメイクレース2009

ペンビク・インター/西日本シリーズ~第3戦予選結果

Po	No	Driver	Machine	Time
1	13	トモアキ	DIXELカーズ東海-SSR-FD2	2'34.326
2	1	松井 隆幸	まっ白ないいやくんカーズ東海SSR ED SEV	2'35.311
3	27	高島 登	エムテックス制動屋SSRカーズ東海	2'35.929
4	58	小林 康一	ホンダカーズ東海/コースTWS G山小研シビック	2'36.405
5	81	北野 浩正	東野Racing/ガルファロー*制動屋/ひろばシビック	2'36.412
6	57	後藤 比菜至	SEV-MART-ENDRLESS-CIVIC	2'36.477
7	346	酒井とくしげ	ホンダカーズ東海/ATSC/コースTWSのレスポンスシビック	2'36.567
8	72	谷口 行規	EUROオイル-WMたにやんCIVIC	2'36.745
9	86	水越 真一	NUTECエンドレスCIVIC	2'38.279
10	7	大西 隆生	オートバックス オートセブンシビック	2'38.519

天候: 雨/コース: ウェット/走行: 13台

Flash of Revolution
革新の閃光-"FN09"Debut

レーシングドライバーのプライド。それは誰よりも速いこと。オーバーテイクの意志を示す光が煌めくとき。マシンは閃光となってストレートを駆け抜ける。2009年、さらに過激に進化したフォーミュラ・ニッポン。男の戦いがそこにある。

Formula NIPPON
The Real Racing Sport: Formula NIPPON